

03

造形演習 I

1. 平面造形 2. 立体造形

開講年次：学部1回生 前期

[担当教員]

藤原洋次郎 (川崎医療福祉大学教授)

脇本正輝 (課題1「鉛筆デッサン基礎」)

■課題1「鉛筆デッサン基礎」

- ・2つの静物(ティッシュ箱・卵)を鉛筆によりドローイングする。
- ・位置決め、形づくり、表情の付けかた等鉛筆デッサンの基本を学ぶ。



大西琴子 (課題2「平面構成(線による構成)」)

■課題2「平面構成(線による構成)」

- ・絵具で描画した紙(A2ケント紙)にカットिंगを加え、もう一枚のA2ケント紙の所定の枠に貼りつけ構成する。
- ・テーマを考え、抽象化したイメージを色彩と線とに置き換え、紙面上に再構成することで、平面構成を学ぶ。
- ・最後に作品タイトルをつける。



[担当教員]

藤岡智紀 (造形家)

■課題「卵を守る紙の造形」

- ・指定された紙のみを使い、高所から落としても卵が割れない構造と、卵存在を生かしたデザインを兼ね備えた造形を制作する。適宜彩色すること。
- ・レポート提出：A4用紙4枚以内
 - 1: 決められた紙のみを使用すること。
ただし、全ての種類を使わなくてもよい。
 - 2: パラシュートや雨傘の仕組みに準じた形体は不可。
 - 3: 着色は自由とする。
- ・制作の段取り
 - 1: ペラペラ漫画の作成。
 - 2: 実験(レポートの作成)
 - 3: 模型(エスキース)の作成
 - 4: 実物の制作
 - 5: 本番(落下、検証)

最上階ブリッジより落とす。



学生作品



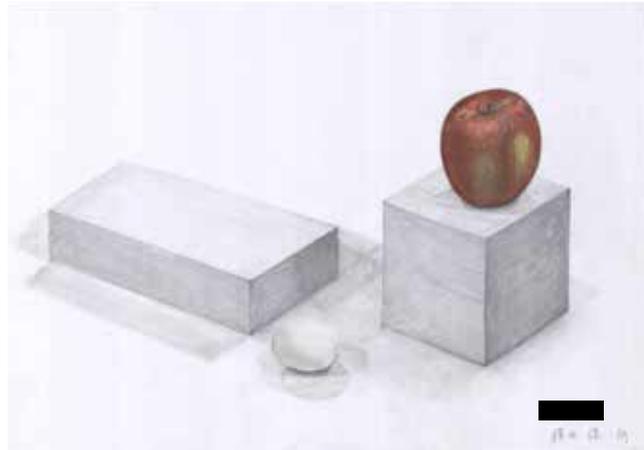
[担当教員]

藤原洋次郎 (川崎医療福祉大学教授)

■課題1「着彩デッサン」

- ・リンゴと卵がのる2つの直方体を鉛筆デッサンし、着色する。
- ・彩色による表情や陰影、明暗の付け方等水彩デッサンの基本を学ぶ。

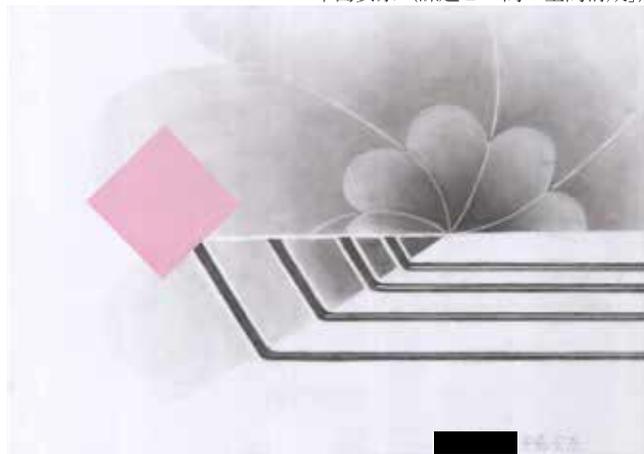
横田慎一郎 (課題1「着彩デッサン」)



■課題2「間の空間構成」

- ・身近にある自然物や人工物等から抽出スケッチした興味あるかたちに、単色で彩色した10cm角の正方形を組合せて空間構成する。
- ・省略、強調、間を工夫し、構成がいかに作品をカッコ良くさせるかを研究する。

中島安奈 (課題2「間の空間構成」)



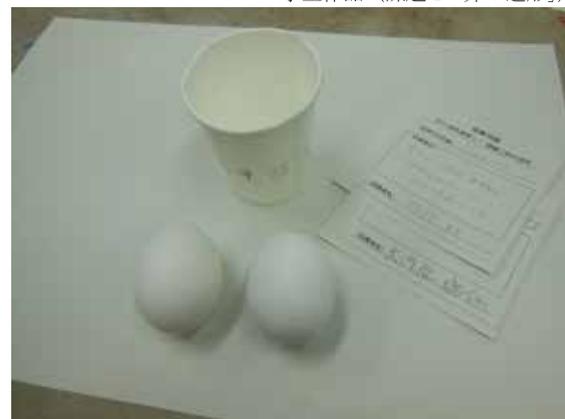
[担当教員]

藤岡智紀 (造形家)

■課題1：卵の造形

- ・ニワトリの卵を観察し、固めた石膏で本物と見分けられないまで彫刻する。

学生作品 (課題1「卵の造形」)



■課題2：座の空間造形

- ・学内のある場所4箇所(下図)から敷地を選び、その空間に「座」をテーマに制作する。
- ・与えられた材料(巻きダンボール、1mx10m程度)のみを用い、空間を自由に発想する。

学生作品 (課題2「座の空間造形」)

